



志津南

7月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)
世帯数 2,484 総人口 6,614 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

コロナ

ワクチン接種 各医療機関で開始 かかりつけ医などに相談を

ワクチン接種会場風景＝近江徳洲会病院



草津市では、新型コロナウイルスワクチン接種について、65歳以上の高齢者に、接種券を送付し、予約受付の後、接種を実施しています。接種実績累積は、1回目接種が1万3264人、2回目接種が4698人

人と発表されています(6月13日現在)。今後、予約が取れなかった方を対象に、接種希望調査が行われます。郵送される調査に返信した希望者に、市で調整した接種日時と場所が後日案内されます。また、6月7日から順次市内の病院や診療所の約60か所で、ワクチン接種ができるようになりました。

- ▽あさの内科クリニック 追分南二丁目1の14
- ▽いづら皮膚科クリニック 追分南二丁目1の14
- ▽西岡医院 追分南二丁目12の2
- ▽若草診療所 若草五丁目13の1

個人接種が受けられる志津南学区内の医療機関

「決まりましたら、必ず集団接種はキャンセルしてください。」

「個別接種を受けることが決まりましたら、必ず集団接種はキャンセルしてください。」

「個別接種を受けることが決まりましたら、必ず集団接種はキャンセルしてください。」

熱が出たが半日で治まり、誠に幸いだった。今回の接種予約は高齢者には不公平な話で、心折れた人も多いと聞か、今後は近隣医療等での予約・接種をお勧めしたい。一方良かった点は、同級生多数と久々にメール交換したこと、その中で草津市はワクチン接種が全国でも逸早く進んだ町だと分かり、少々鼻が高かった。

最後に一句「ワクチンの騒いで効力 不詳とは」

その1 (74歳男性)
4月12日、最初の予約受付日に運良くスマホで予約が取れ、無事2回とも接種完了。徳洲会病院でファイザー社のワクチンだった。両回とも会場の混乱もなく、15分間隔で30〜40人の被接種者がスムーズに流れ、受付から問診・接種・待機・退場まで約30分で終了した。1回目は5月15日。上腕の外側にある三角筋の中央へ、外径約0.4センチと細い

注射針での筋肉注射。針が入る瞬間はチクツとしたが、注入中は何も感じなく、あっという間に終わった。その日も飲酒・入浴可で、特に変わったことも無く就寝。翌日は接種部にヒリヒリという軽い痛みを感じる程度で、発熱もなく日常生活に問題もなく、痛みも3日目には消えた。2回目は6月5日。針が入るときの感覚も無く、あっという間に接種は終わった。テレビで、女性医師が2

回目の後に高熱が出たが、ある時点で「脱皮をしたように楽になった」と話していたのを思い出し、脱皮を経験してみるのもいいかと思いつき、就寝したが、発熱もなく翌朝を迎えた。左肩を下にして寝ると接種部に鈍痛を感じたが、3日ほどでその痛みも消え、それ以外の発熱や倦怠感などの症状はなかった。

その2 (78歳男性)
予約受付初日の4月12日、WEB予約が断然有利とみ

て、入力データのテキストを作り、何十年か振りにハラハラドキドキしながらパソコン前で待機「3,2,1,0」の秒読みで9時きっかりロケイン。早い日時を選ぶも不慣れでモタつく間に満杯。「他の日時でやり直して下さい」が連続5回も出て大慌て。その時、「遅い日なら…」と閃めき、最終日に挑戦、滑り込みセーフで予約が取れた。

「次いで2回目。これは21日後に確保されているはずと落ち着いて入力し、9時



昨年夏に行われた一斉清掃

春に続き 夏の 一斉清掃中止

若草・岡本西地区環境美化委員会(舟木要一委員長)はコロナ禍の情勢を鑑み、7月18日実施予定の全町一斉清掃を中止いたします。

ただ、草木の成長は早く待つはくれません。環境整備は現状必須であり、前回同様「各町内会別自主清掃」を、町内会役員を中心

にボランティアの協力を得ながら実施してください。なお、草津市の集積ごみ回収は、7月18日予定通り実施されますので、これまでに作業を終えるよう日程調整をお願いします。

ラジオ体操も中止
志津南小学校PTA(塩田洋太会長)はコロナ禍の情勢を鑑み、昨年到现在各ブロック単位での夏休み期間中のラジオ体操を中止することを決めました。

地域の高齢者や保護者も公園などに集まり児童たちと一緒にふれあう機会を楽しみにしていましたので、中止は残念です。

民児協 強化週間に多彩な活動

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は、民生委員児童委員の日・活動強化週間(5月12日〜5月18日)にあたって、「コロナ禍でも出来る活動・コロナ禍でも出来る活動・コロナ禍でも出来る活動」をテーマに、様々な活動に取り組ましました。



「お宅を訪問し、話をさせていただきます。まず65歳以上の一人暮らし。ちょうどワクチン接種の予約が始まった時で、予約の取り方に関する困り事や、不満な点なども話題に上り、後日新型コロナウイルス対策室へ報告しました。

また、学区内23か所の児童遊園・児童公園を2日間巡回し、子どもへの声かけや遊具点検を行いました。2日目はあいにくの雨でした。



地域からの支えを訴えるのぼり

「おかげで、下校時間と重なり「さようなら」「おかえり」「気を付けてね」と子どもたちを声をかけ、見守り活動となりました。

なお、点検シールのない支援で培った腕前で、センター1建物の周囲の伸びた垣根を切り揃え、駐車場周囲、滋賀銀行側にある高木の枝葉を切り、スッキリさせました。他の参加者は草取りと、剪定により出た枝葉の片付けをして汗を流しました。

日頃のお礼に清掃活動



高木枝切り・垣根剪定・草取り…と、センター周りの清掃作業

志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)が6月8日、日頃よりお世話になっている志津南まちづくりセンター周囲の清掃作業を行いました。一味クラブ、志津南アンサンブル、ワリーの有志がこれに協力しました。

ボランティアの会員は空き家対策、高齢者の利用者が広く参加する清掃行事にできればと考えています。



(上右) 発電機、(上左) 放水、(下) 消火器訓練をするみまわり隊員



若草二丁目みまわり隊(大倉清廣隊長)は5月30日、町内会役員有志も参加しました。

総勢20人は3班に分かれて、それぞれのリーダー指導のもと、順番で消火用機器の操作手順を体験しました。



「参加してよかった、知らないことが多く、知識が深まった」など、感謝の言葉をいただきました。

災害はコロナに関係なくやってくる

町内会防災倉庫に常備されている発電機と可動式消火ホース格納ボックス、また南消防署から訓練用の水消火器6本を借用し、訓練を実施しました。コロナ禍での訓練に躊躇もありましたが、災害はコロナに関係なく発生するとの意識から万々に備え、実施しました。

志津南文庫



4月から始まりました「志津南文庫」。みなさん、志津南文庫を利用していただいていますか？貸し出しの数はまだまだ少ないですが、読みたい本をぜひリクエストしてください。今、文字が大きく読みやすいような本も何冊かおいています。ぜひ手に取って見てください。

湖上で感じた自然の大切さ

岸に向かって手を振る児童たち



今年度も感染症予防対策の観点から日帰り航海となり、二校が同船しながらも、交流の時間を少なく配慮した日程や活動内容となりました。

志津南小学校(山田容子校長) 五年生を対象としたフロートینگスクールが6月2日と4日、二航海に分かれて、志津小学校児童と一緒に実施されました。

湖大橋をくぐり沖島を展望したり、水の透視度調査や水中のプランクトン観察をしたりと、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。

学校といえ、教科書、ノートに黒板、大人数の皆さんには当たり前のことではないでしょうか？実は、今どきの子どもたちにとって授業で使うものにタブレットやパソコンが含まれることは普通のことなのです。

例年コロナによる休業で、全国的にオンライン授業の導入に向けた取り組みが広がっています。草津市も例外ではなく、昨年度から

ICT授業

ICT授業 例えばアプリを使って繰り返し学習をしたり、自分のiPadで作ったものを教室のモニターにミラーリングで映し出して発表したり、美術作品を写真に撮って先生に提出することもあ



てしまう子どもたちに感心するやら戸惑うやら、子どもに教えてもらうのが一番早い上達方法かもしれませぬ。(なっちゃん)

オカリナに聴き入るやすらぎ学級生



令和3年度「志津南やすらぎ学級」が5月26日に開講しました。第1回講座の講師には、野火アンサンブルさんを招き、志津南まちづくりセンターで「オカリナコ

ンサート」が行われました。学級生18人が参加しました。野火アンサンブルは、野焼きでオカリナを制作したメンバーを中心に集まった仲間、毎週センターでも練習をされています。前半は「バラが咲いた」「ふらふら」「さんぽ」「茶摘み」「みかんの花咲く丘」「翼を下さい」などの曲を演奏していただきました。

オカリナの音色にすてきなひと時

二回の航海は天候こそ違いましたが、湖上から見る景色に子どもたちは驚き、また感動したことだと思いを再認識でき、貴重な体験となりました。

然に囲まれた滋賀県で生活していることの良さを感じると共に、その自然を大切にしていこうという気持ちを通し、湖や山々など自然にわたたり、様々な種類の楽しい音楽を24曲も披露してくださいました。

ウォーキング ひさしぶりの実施

5月29日志津南学区健康推進員連絡協議会(横山民子代表)は、ウォーキングを実施しました。

初夏の日差しがまばゆい中、参加者36人は、新型コロナウイルス感染症予防をしながら、桐生の「若人の広場」を目指しました。



青空の下、元気に桐生を目指す参加者

間になかなか外出もできないコロナウイルスの影響で

日々が続きますが、音楽で心を癒され、とてもすてきなひと時を過ごすことができました。今年度のやすらぎ学級は

「あなたも、あなたも、お元気ですか」をテーマに開催をさせていただきます。まだ申し込みがまだです。まだ申し込みがまだです。まだ申し込みがまだです。

川面舞うホタルの光



「あなたも、あなたも、お元気ですか」をテーマに開催をさせていただきます。まだ申し込みがまだです。まだ申し込みがまだです。まだ申し込みがまだです。

草津市内でも有数のホタル観賞地である若草・岡本西から青山小学校沿いの伯母川に、今年もホタルの舞う幻想的な季節がやってきました。ホタルは毎年山つつじが咲く3か月後に飛び始めるので聞きますが、今年例年の6月8日前後を待たず、5月末から飛び始めました。近畿の入梅が5月16日と昨年より25日も早いのも珍しく、また今冬の気温が高かったから早い出現という説もあり、自然界の営みは不思議です。夜の気温や日によってホタルの現れ方は違いますが、夜8時前後、暗闇になると、多い時で百匹ぐらいは飛び交います。光が川面や土手を飛び交う様子はとても幻想的で「きれいな」「きれいね」と若いカップル、親子、子ども会など、ギャラリィの音が飛び交います。ホタルが飛び交う自然は郷愁を誘われます。

「しづみなみんちゅ」がやって来た



三線演奏を楽しむ参加者たち

かがやきの丘地域サロン「なごみ会」(浅野謙一代表)は6月3日、町内会館「きらり」で、学区内の地域サロン「志津南アンソングパワー」から、三線とギターの「しづみなみんちゅ」を招き、

沖縄音楽、北の大地北海道、古都巡り、そして琵琶湖の風景が思い浮かぶ歌と演奏を楽しみました。

気の抜けない日常が続き、どこへも行けないこの時期に、三線、太鼓、三板、ギターの

コロナワクチン接種予約代行

追分南町内会「元気づらぶ」は6月8日、追分南会館で、希望者にワクチン予約の代行を行いました。

「写真。これは、いきいき百歳体操参加者で、草津市コロナワクチン接種予約の方を対象にしたものです。

当日は開始前に3人の希望者が来館され、スムーズに予約サイトにつながり無事予約完了できました。



伴奏で代表的な曲「芭蕉布」空、夏の沖繩に連れて行く「安里屋ユンタ」などをみても面白い、楽しいひと時を過ごしました。

沖繩に想いを馳せて...

奏会となり、参加者はまさに遠く沖繩に想いを馳せました。



「芭蕉布」「安里屋ユンタ」など沖繩民謡で始まり、演奏者は沖繩風衣装に、髪に花を挿すなど、見ているだけでも楽しい会となりました。

志津南学区地域サロン・志津南アンソングパワー(吉田知津子代表)は6月19日、志津南まちづくりセンターで三線演奏会「沖繩に想いを馳せて...」を開催し、42人が参加しました。

「しづみなみんちゅ」と名乗り、アンソングメンバーに加えて、野火野火アンソングの佐々木奉昭さんと鈴木明さんがオカリナを演奏、滋賀男声合唱団の早瀬正和さんが歌ってくださいました。

という豪華メンバーの競演でした。更に村井教夫さんのギターが花を添えました。沖繩独特の太鼓や三板・笛も登場し、沖繩色満載の演

パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽7月20日(火)
8月24日(火)
13時~16時
▽志津南まちづくりセンター1サロン



大河ドラマが終了して4か月余り、坂本も静かな新緑を迎えています。

穴太衆積みみの石積の里坊が作る穏やかで心休まる景観の中を散歩すると、面白い光景を味わえます。比叡山延暦寺の里坊として知られる滋賀院の横から、裏への石段を上ると慈眼堂に出ます。

慈眼堂は慈眼大師天海の廟所で、慈眼大師座像(重文)が祀られています。天海の出自は陸奥国会津の出身とされていますが、天海自身が出家前の俗世間のことはすべて忘れたとして語り、全て謎に包まれています。

資源回収
★かがやきの丘町内会
□毎月第1・3土曜日
★フォレストロープ子供会
□毎月第2日曜日
★向山子供会
※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール

出会います。家康の参謀として仕え、慶長12年、比叡山探題に任じられ、焼き討ち後の延暦寺復興に尽くしました。その後も家康、秀忠、家光3代に仕え、寛永20年百八歳で亡くなりました。さて、明智光秀一族の光秀灯籠のはなし



光秀願主の石灯籠

の西教寺の前から横川への山道をたどること30分、山中に飯室谷があります。飯室不動堂は、根本中堂、釈迦堂、横川中堂、無動寺、明王堂と並ぶ五大堂の一つ。無動寺谷とともに千日回峰の拠点で、先代住職は戦後2回の千日回峰を成し遂げ

た酒井雄哉大阿闍梨、現在も回峰行を済ませた藤波源信大阿闍梨がおられます。この境内に人知れず光秀の石灯籠が立っています。この石灯籠には「慶長二十年二月十七日奉寄進 願主光秀」と彫り込まれています。慶長20年といえは光秀没後33年が経っています。光秀は小栗栖の藪で殺されたのではなく、秘かに比叡山に落ち延び、後の天海になったという伝説の裏付けとされるものです。天海が大坂冬の陣の発端となった方広寺銘鐘事件で豊臣家を滅亡に導いたのも、光秀としての恨みからといわれ、また日光の地に明智平と名付けたのも天海であり、明智の名を残したとされます。さて本当はどなたが何のために建立したものでなか...謎です。昨年大河ドラマ「麒麟がくる」では紹介されませんでしたね。(野津 隆)